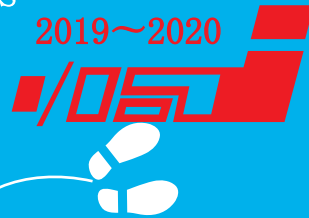




THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION
東日本区理事通信



2019.7.1 発行
第1号

勇氣ある変革、愛ある行動！

Innovation with courage, action with heart!

みんなで力を合わせて、1・2・3

Hop, Step and Jump with all Y'smen

強調月間
■ キックオフ
■ YMCA サービス
■ ASF
■ RBM

理事
メッセージ

東日本区理事 山田 敏明 (十勝)

■ ホップ、ステップ、ジャンプ!!

いよいよ、キックオフです。メンバー全員がサッカーというプレーヤーです。ワイズのメンバーは決して観客席に座っているのではなく、試合に出場しているのです。東日本区61チーム(クラブ)で、自分のチームの活動計画を立てましょう。チームごとに献金などで競い合ったり、或いはリーグ(部)内で研修や研鑽で交流を深め合ったり、そして2020年6月6日のチャンピオンシップ(東日本区大会)で、一年間の努力を称え合ひましょう。

YMCAサービスは、私たちワイズメンにとって、1丁目1番地です「YMCAを通して、地域社会に奉仕する」は、ワイズメンの使命でもあります。今後とも、YMCAと共に、活動を推進しましょう。ASFについて、

東日本区として、日本YMCA同盟主催の主事養成コースであるSTEP II等を支援しています。

また、RBMは、マラリア撲滅運動で、国際協会が事業展開している活動に協調し、国際・交流事業の柱の事業であります。

7月19～21日に杜の都仙台にて第28回アジア太平洋地域大会が開催されます。この大会は、東日本大震災でたくさんの教訓を得た事を再認識し、「防災」・「復興」・「交流」をキーワードに、東西日本区で共催します。アジア太平洋地域のみんなで、ワイズのすばらしさを共有しましょう。仙台でお待ちしています。

いずれにしても年度初めとして、何事も「最初が肝心」です。副題である「みんなで力を合わせて1・2・3」を声に出して、ホップ、ステップ、ジャンプ！！

東日本区全員で力を合わせていきましょう

強調月間

地域奉仕・YMCAサービス事業主任
片山 啓 (茨城)

■ YMCAサービス事業について

YMCAは、2020年にキャンプ100年を迎え、ワイズも2022年に100周年を迎えます。この備えとして17年8月25日に、第1回ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会をワイズメン西日本区事務所にて実施をし、以降、年に2回東西ワイズの委員とYMCAの代表が集まり協議を進めております。本委員会は、双方のパートナーシップの強化を目標とし、2022年までに具体的な計画立案と、同計画を全国で実施し世界に発信することを目指しております。今年度は、委員の一員として同委員会の報告もさせて頂く予定です。

さて、7月はYMCAサービス事業を考える月間ですが、今月だけに限定をせずに、今年度を通して各クラブにおいて、2022年のワイズ100年に向けた新たなYMCAとのパートナーシップのあり方について、話し合いを進めて頂ければと願います。

■ ASF事業について

ASF(エー・エス・エフ)は、アレキサンダー奨学資金(Alexander Scholarship Fund)の略称で、ワイズメン運動の創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダーを記念して設置された奨学基金です。

YMCAで働くことを希望する学生、YMCAに在職しながら、より一層深い経験を得るために訓練を受けたいと希望する若手主事に対する財的援助を目的としています。

東日本区では日本YMCA同盟が実施する各種プログラム(主事養成のためのSTEP II研修等)への支援、担当主事の区大会等への派遣費用の補助および国際ASF事業に対する支援等の基金として運用しています(「クラブ運営マニュアル」より抜粋)。



ポール・ウィリアム・アレキサンダー

強調
月間国際・交流事業主任
板村 哲也（東京武蔵野多摩）■RBM（Roll Back Malaria）
＝ロールバックマラリア）

WHO（世界保健機構）によると2017年に世界で43万5千人がマラリアで死亡しています。RBMは1988年にWHO、UNICEF、UNDP（国連開発計画）、世界銀行等が始めた世界的規模のマラリア撲滅キャンペーンで、現在の正式名称は「マラリア終結のためのRBMパートナーシップ」となっています。ワイズメンズクラブ国際協会は、国際レベルの統一事業の一つとして、国際赤十字・赤新月社連盟と連携してマラリア蔓延国に殺虫剤が塗布された蚊帳を寄付すべく、募金活動（RBM献金）を行っています。今年度の東日本区のRBM献金達成目標は800円/人以上です。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

なお、上記の蚊帳の見本は東日本区の各部にあり、歴代の主査で引き継がれていますので、部の評議会などの機会にご覧ください。また、YMIWorld 2018-2019 No.3（日本語版）の9頁と20頁にRBMの記事がありますので、ご覧ください。



いざ、仙台へ！

第28回アジア太平洋地域大会
開催迫る！アジア太平洋地域大会実行委員会事務局長
山本 剛史郎（川越）

いよいよ第28回アジア太平洋地域大会が迫ってまいりました。その準備のため、仙台、石巻を何度か訪れましたが、石巻市立大川小学校の訪問が特に印象深く残っています。言うまでもなく、東日本大震災による津波で児童74名、教員10名が亡くなった小学校ですが、何度、訪れてもその痛ましさは胸に突き刺さります。大震災での死者・行方不明者は1万8千人を超えたという数字だけでは今一つ伝わらない被災地の実感がひしひしと伝わる場所でした。もちろん大川小学校だけではなく、他にも大震災の爪痕、被害の大きさを感じる場所は多々あります。東日本区のワイズメンに限らず、日本、アジア・太平洋地域、そして全世界のワイズメンに実際に来てもらい、その大震災の爪痕、そして復興を体感していただきたいと願っています。

いざ、仙台へ！ エイ、エイ、オー！

Change!
しようChange!2022
推進委員会委員長
栗本 治郎（熱海）

ワイズメンズクラブ国際協会では、“Towards2022”という100周年を目指した会員増強ビジョンを策定いたしました。会員減少が続く東日本区でも『2022年をゴールとする中期会員増強計画』を作り、会員増強運動を展開することになりました。この計画に当たり、各クラブの実情およびご意見をお聞きし、東日本区一体となって会員増強を図りたくアンケートを実施いたしました。クラブ向けアンケートには61クラブ中49クラブ、会員向けアンケートにも約3割の方々から回答を頂きました。アンケートの中でこの運動のネーミングを募集しましたところ、石巻広域クラブの清水弘一さん応募の『Change!2022』に決定致しました。アンケートの結果は東日本区ウェブサイトに掲載致します。

〈Change!2022 事業計画の概要〉

- 5人以上の新クラブ設立の奨励
- SNS・広告の活用によるワイズ活動の情報発信
→ワイズの知名度アップ
- 部エクステンション委員会の新クラブ作りの支援
新クラブ設立の為のパンフレットの作成
クラブ設立の為の国際協会への手続き支援
- アンケートの回答を踏まえて、新しいワイズ像の構築
- Change!2022ニュースの発行によるEMC意識の向上



YMCA たより

日本YMCA同盟東日本区担当主事
光永 尚生（三島）

2019-20年度山田理事期も毎月の通信に、全国YMCAに係る情報などをお知らせしてまいりますので宜しくお願いいたします。

全国YMCAでは、中期計画の推進の一つとして、ブランディング表出研修を東西の地区で開催します。今回は、大阪YMCAと東京YMCAで「外部に対しての見える化」初級編、中級編と題して全国YMCAスタッフが集まり、オールYMCAで取り組んでいくためのノウハウを学びます。

また、7月22日～26日には、第5回目を迎える、「全国YMCA専門職管理者研修会」が、御殿場の東山荘で開催されます。全国YMCAは、公益財団法人だけでなく、NPO法人、学校法人、社会福祉法人など多様な法人格があり、それぞれに専門的な働きを進めています。そのために、ますます増加する専門職に対して、より一層のYMCAスピリッツの共有の場として、ステップⅡ研修に行く前の段階で、設定されています。キリスト教理解、グループワーク、YMCAで働くことの意味、管理者としての学びなど共に学び、共に食し、寝食を共にするYMCAのスタッフ像の形成の機会、今も大切にされています。

📎 ニュースクリップ

📎 フレッシュワイズの集い

東日本区LT委員長・北村文雄(厚木)

6月1日～2日に開催されました、第22回東日本区大会の一日目の午前中に『フレッシュワイズの集い』を開催いたしました。

当初、入会間もないメンバーを対象にワイズ理解を目的としたセミナーということでしたが、LT委員会で協議した結果、研修ではなく、ワイズの魅力、クラブライフの楽しみ方を皆で話し合う場にしようということになりました。アイスブレイキングは『チョコレートチャット』で、リラックスしたなかで、ワイズに入ったきっかけ、ワイズについてもっと知りたいこと、判りにくいこと、入会してよかったこと、これからのワイズに期待することなど等、グループ別に話し合っていたいただき、発表していただきました。経験が浅いゆえ、ベテラン会員が感じるしがらみ等が無い無限な可能性を秘めた素晴らしい意見が随所に出て参考になりました。

LT委員会として、東日本区が推進する「Change！2022」で誕生する新クラブ、新入会員に対してのケアがこれから重要な役割になるであろうという認識のなかで大きなヒントをいただきました。

事前に計画していたゴールは『ワイズメンズクラブをよく知る』でしたが、流れのなかで、『楽しいクラブライフを送る秘訣』に変わりました。

- クラブライフ適度の束縛は心地よい。
- 活動には積極的に参加、自分が主役という意識で、傍観者ではなく当事者。
- 誘われるより誘い手に、でも話上手より聞き上手。
- ワイズは生涯学習の場。
- 大会等には積極的に参加、交友関係を広げよう、親睦はワイズの醍醐味。

仕事柄、このような研修の経験豊富な大澤和子LT委員(所沢)の見事な司会進行で、参加した皆さんから楽しかった、勉強にもなったと、高い評価をいただきました。参加者は13名でした。

📎 ネットによる絵本の発送

6月14日(金)、日本YMCA同盟会館において、メネット委員会による国内プロジェクト「絵本を贈る運動」の発送作業が行われました。今回は、全国8YMCAの43施設に、148冊の絵本を贈ることができました。



ワイズカレンダー

(東日本区の行事を中心に)

- ・7月 6日(土) 東日本区第1回役員会
- ・7月10日(水) 各クラブ前期半年報部長提出期限
- ・7月15日(月) 同上(部長から会員増業事業主任)
- ・7月17日(水)～21日(日)

アジア太平洋地域ユース・コンボケーション(石巻)

- ・7月19日(金)～21日(日) アジア太平洋地域大会(仙台)
- ・7月21日(日) 北東部部大会(仙台)

以心電信

✓ ロースター配布

各クラブの協力でロースターが完成しました。各クラブには7月中旬に届く予定です。訂正箇所がありましたら、東日本区事務所または山下書記までご連絡ください。

✓ **理事通信**はワイズドットコムにて配信します。また、東日本区ウェブサイトにも載せます。原則として毎月1日に配信します。クラブ周年記念例会など、アピールしたい行事がある場合は理事通信で広報いたします。仙洞田副書記までお知らせください。

✓ 区報1号の配布

2019-20年度東日本区区報1号をクラブ会長宛てに送りました。例会等でお受け取りください。

✓ 半年報について

前期半年報提出用紙に7月1日現在の会員数と異動報告を記入して、7月10日までに所属部長にFAXまたはメールでご連絡ください。用紙は3月に行われた次期会長研修会でお渡した、「会長必携クラブ運営ファイル」に入っています。区ホームページからもダウンロードできます。各部長はこれらを集計して、札幌会員増強事業主任まで報告をお願いします。不明な点は、東日本区事務所にお問い合わせください。

✓ クールビズで

暑い夏の例会は、上着・ネクタイを外して、ワイズ活動に励みましょう。クーラーの温度設定も少し高めにし、温暖化防止に協力しましょう。

✓ 東日本区事務所より

事務所長の小山憲彦さん(東京サンライズ)が週3日の勤務態勢をとります。業務は月・水・金曜日の13時から18時です。留守電の時は、クラブ名・お名前・電話番号のメッセージを残すようお願いいたします。